

1 出席者

運営協議会委員（12 名）

【会長】学識経験者：雪嶋会長

【副会長】学識経験者：三浦副会長

【公募委員】京田委員、日高委員

【区内の社会教育委員】横山委員

【障害者団体から推薦を得た者】今井委員

【図書館関係団体から推薦を得た者】尾下委員、成瀬委員

【中央図書館長】図書館職員：藤牧中央図書館長

【図書館側委員】図書館職員：梶資料係長、富樫利用者サービス係長、
鈴木こども図書館長

図書館事務局（2 名）

【事務局】図書館職員：萬谷管理係長、管理係小林

2 視察場所 大和市立図書館（大和市文化創造拠点シリウス 1～5 階）

(1) 視察場所選定理由

平成 29 年度第 2 回図書館運営協議会において、新中央図書館の建設に参考となる施設見学の要望があった。

平成 28 年 11 月 3 日に開館してから 1 年を迎えた大和市立文化創造拠点シリウスは、図書館のほかホール、生涯学習センター等を併設した複合施設となっている。先進的な取り組みを備えた施設として広く知られており、新宿区における今後の新中央図書館の検討に参考になると考えられるため。

(2) 施設開館の経緯

現在のシリウスが所在するエリアは、90 年代から再開発の対象地域となっていたが、当初の分譲マンションを中心とする都市計画がリーマンショック等の影響により見直しの必要が生じていた。一方で、これまでの大和市立図書館やホールを備えた生涯学習センターは、老朽化が著しく、建て替え等の課題を抱えていた。

このような状況の中で、再開発事業で新たに生み出される保留床を市が購入した上で、図書館・ホール・生涯学習センター等を併設した公共施設を整備することとなった。

(3) 施設概要

所在地：神奈川県大和市大和南一丁目 8 番 1 号

再開発ビル名：「YAMATO 文化森」

階数：地上 6 階、地下 1 階

建物全床面積：25,256 m²（うちシリウス 22,904 m²、図書館 6,560 m²）

※シリウス以外のエリアは、コンビニ、神社等が所在している。

シリウス運営：指定管理者「やまとみらい」

（株式会社図書館流通センター、サントリーパブリシティサービス株式会社、

株式会社小学館集英社プロダクション、株式会社明日香、

株式会社ボーネルンド、横浜ビルシステム株式会社の計 6 社による共同事業体）

図書館開館時間 9 時～21 時（日・祝は 20 時まで）

休館日：12 月 31 日・1 月 1 日

所蔵資料数：約 39 万冊

職員数：51 名（フルタイム＋パート）、うち司書 33 名

3 館内施設見学

(1) 1 階：一般開架（新刊本、身近な暮らしに関する本、雑誌等）

1 階は主にホールとなっているが、2 階へのエスカレーター付近に新刊本や雑誌等、気軽に読める本が配架されており、自動貸出機や OPAC も設置されている。同じフロアにスターバックスも併設され、入退館者で賑わっており、一般的な静かなイメージの図書館とは異なる雰囲気を醸し出している。

また、書架付近に大型絵画の展示も可能なギャラリーがあり、視察当日は地域の小中学生の作品が展示されていた。

(2) 2 階：一般開架（政治・法律・経済・教育等社会問題に関する資料）

飲食・PC 接続が可能で、有料で使用できる「市民交流ラウンジ」が設置されており、学習や歓談・ビジネスの打ち合わせ等に使用されている。ラウンジのエスカレーターを挟んだ向かい側に書架が設置されており、社会問題に関する資料が配架されている。付近に閲覧席も用意されており、読書・仕事・学習等が可能となっている。

1～3 階は吹き抜けのオープンスペースとなっており、話し声等が聞こえる環境となっていたが、ラウンジ・閲覧席の利用者は特に気にされていない様子であった。

同じフロアに市役所の出張所があり、住民票の写し等を受け取ることができる。

(3) 3 階：こども図書館

白い壁にカラフルでユニークな形状の書架に児童向けの絵本・紙芝居等が配架されている。読書室やおはなしのへや、DVDを鑑賞できるシアターブース等のほか、2歳までの乳幼児のあそび場のちびっこ広場・3歳以上を対象としたげんきっこ広場も配置されており、知力だけではなく体力も養うことのできる子ども達の居場所・遊び場となっている。

育児の悩みに関する相談室や親子を対象とした講座が開催される多目的室等も設置されており、子育て支援施設としての機能も兼ねている。

(4) 4階：健康コーナー、まんが・新聞・雑誌コーナー等

大和市が「健康都市 やまと」を標榜していることに関連して、健康に関する書籍に特化したコーナーが設けられているほか、講座やイベントが行われるガラス張りの健康テラス、骨密度測定などができる健康度見える化コーナー、介護に役立つロボットを展示したコーナー等が設置されている。コーナー付近には市の職員が待機しており、測定器具の方法等のレクチャーを受けることができるようになっている。

ティーンズ（中高生）コーナーやシアターブース（視聴コーナー）のほか、館内閲覧専用であるがまんがコーナーも設置されており、数多くの著名作品を読むことができる。

(5) 5階：一般書架等

こげ茶を基調とした落ち着いた色の書架に図書が並べられている。レファレンスカウンターや情報検索コーナーが設置されており、調べものに対応するフロアとなっている。また、静かに読書をしたい利用者のための扉で仕切られた読書室も設置されている。

地域資料コーナーには、地域の出土物なども合わせて展示されており、ミニ博物館の様相を呈している。

(6) 6階：生涯学習センター

予約なしで使用できる交流スペースのほか、ガラス張りの会議室や講習室が配置されている。（カーテンにより周りが見えないように講習を行うようにも出来るようになっている。）

市役所の図書館担当部署（図書・学び交流課）の事務室も6階に設置されている。

4 その他（質疑応答等）

- ・建設までの計画スパンについて

再開発の話が上がったのが平成6年頃。図書館等の複合施設建設が決まったのは平成21年。基本計画、実施計画の策定を経て、平成26年に着工し、平成28年7月末に竣工した。

- ・工費は、大和市が約147億円負担。
- ・市民の居場所作り、滞在してもらい元気になってもらうことをメインコンセプトとした。
- ・資料については、元々の図書館に約36万冊あったことに加えて、開館にあたり2万6千冊購入した。年間の資料購入費は、指定管理料に含まれている。(指定管理料は6社合同で約7億9千8百万円、うち図書館約3億円。)年間1万5千冊購入している。
- ・利用者層は大和市民が約65%。
ホールやこども広場は市外利用者が多く、50%を超えている。
登録要件は市内在住・在勤・在学、相互利用協定を締結している神奈川県央地域の市・藤沢市・横浜市在住。
- ・広報においては、指定管理者6社が共同して、広報紙、ホームページ、フェイスブック等により行っている。サントリーパブリシティサービス株式会社が主に担っている。
- ・1日の来館者数は約1,000人
- ・29年度の貸出数は9月末時点で35万6千冊、10月は5万9千冊。
- ・電子書籍を導入している。タイトルを増やし、横浜市との利用協同の効果で登録が増えている。
- ・現在、大和市内に図書館は1館のみだが、市内の学習センターに図書館分室としての機能を備えている。また、中央林間駅周辺に図書館の設置計画がある。

5 まとめ

シリウスは、図書館として最先端の設備を有しているだけでなく、子育て支援や健康支援を実施する施設としての機能も兼ね備えたほか、複合施設としてのスペースを有効活用し、ホールへ入館する導線の手前に書架を揃えるなど、既存の施設・図書館の構造・設備にとらわれず、多くの方が来館し利用できるような工夫がなされていることが見受けられた。気楽に一日過ごしていただける居場所としてご利用いただきたいという大和市・指定管理者の思いが随所に感じられた。

今後、新中央図書館の建設計画を具体化するにあたり、今回の視察を参考にしていきたい。

外観



1階フロア



1階フロア



1階ギャラリー



2階閲覧席 (右手は吹き抜けになっている)



ラウンジ券売機



ラウンジ席出入口 (左手が吹き抜けになっている)



ラウンジ券売機で発券したチケットをかざしてゲートを通過する



3階こども図書館閲覧席



こども図書館 (知識の本)



絵本書架



右側「げんきっこ広場」左手奥「ちびっこひろば」



げんきっこ広場の出入口

ちびっこひろば



4階 健康度見える化コーナー



DVDを鑑賞する子ども達



読書テラス



ロボットコーナー



健康コーナー



雑誌・新聞コーナー



予約本コーナー



自動返却機



自動返却機での返却の様子



閲覧席



マンガコーナー



通話スペース



シアターブース



新聞閲覧席



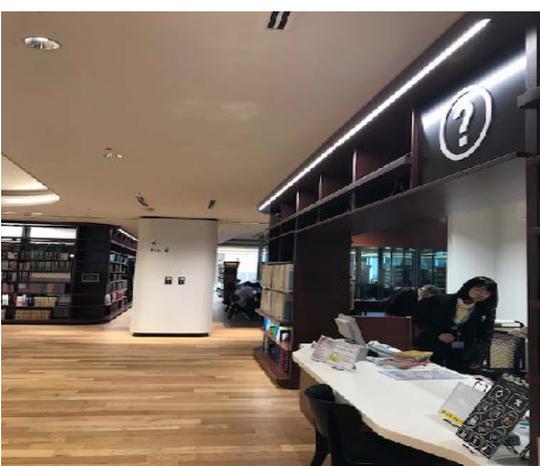
5階 一般書架



情報検索コーナー



レファレンスコーナー



地域資料コーナー



地域資料コーナーの展示



地域ゆかりの作家の展示



生涯学習センター



和室

